

日看大協第 33 号
2023 年 7 月 28 日

一般社団法人日本 NP 教育大学院協議会

会長 草間 朋子 様

一般社団法人日本看護系大学協議会

代表理事 鎌倉やよい



「看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究」

【対象者様への周知のお願い】

平素より一般社団法人日本看護系大学協議会(以下、JANPU)の活動にご理解とご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この度 JANPU は、文部科学省より『令和 5 年度「先導的・大学改革推進委託事業」看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究』を受託いたしました。

本事業では、社会のニーズに合わせた看護学教育内容の充実へ向けて、教育現場における課題等を的確に把握・整理し、多くの看護系教員、医療現場の看護師や高度実践看護を行う者を対象として、広くかつ短期間でインタビューを行います。そのために効率的により多くの対象者からデータ収集を可能にする Chat 型 AI を活用したインタビュー調査となります。

本調査は、2040 年以降の社会を想定した看護職、次世代を担う看護実践能力、そのために必要な教育内容を明らかとし、次期「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」の改訂案を作成いたします。この成果は、未来を見据えた看護実践能力を明確化できること、AACN などのグローバルスタンダードを基盤とし、医療専門職としてのコンピテンシーを提供し、新人看護職員の到達目標含め、継続教育の基盤としても活用できることを想定しております。

つきましては、本調査の趣旨・内容をご理解頂き、貴会認定の診療看護師(NP)の方々にご協力の依頼を広くご周知いただきたくお願い申し上げます。本事業ならびに本調査研究に関するご質問やご意見等がございましたら、4 頁の問い合わせ先までご連絡頂けますと幸いです。

事業計画の概要

1. 事業ならびに調査研究テーマ：

令和5年度文部科学省 先導的・大学改革推進委託事業

「看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/125/mext_00004.html

*資料 5_看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に向けた調査研究に該当します。

2. 事業全体計画と各事業の概要

本事業は、JANPU の組織を基盤に、次期「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」の改訂案の策定を、以下に示す事業 1-4 の行程により実施します。

1) 事業 1 の概要

看護教育現場の課題、専門性の高い看護や医療現場における多職種との協働等の現状を踏まえ、看護学実習の質保証や評価の仕組みや関連する法令・ガイドラインを整理し、解決する方策を検討します。

2) 事業 2 の概要

多くの看護系教員、医療現場の看護師や高度実践看護を行う方々を対象に、世界基準の看護実践や評価に関する基準や国内外論文など多くのデータから Chat 型 AI を作成（モデルの選定及び制御アルゴリズムの付加）、インタビュー調査を実施します。2040 年以降の社会も想定した次世代の看護職に求められる基本的な資質・能力の質問項目を反映させた Chat 型 AI により「2040 年以降の社会も想定した看護職、看護実践能力、教育内容」に関するインタビュー調査を実施することで、次世代看護職の基本的資質・能力（コンピテンシー）、コンピテンシーに基づく教育内容、教育内容の範囲案（広さと深さ）を提案します。

3) 事業 3 の概要

事業 2 で抽出された資質・能力および教育内容に基づき、コンピテンシー、領域、それぞれのコンピテンシーの詳細（レイヤー）、学修目標、方略、評価規準（評価における観点）・基準（規準を段階に分けて説明した尺度）を作成します。また、コンピテンシー基盤型教育としてモデル・コア・カリキュラムを提案すべく、評価時期（マイルストーン）・重みづけ・ナンバリング（コースの適切な番号付け）・到達度を示し、提案します。

4) 事業 4 の概要

事業 1.2.3 の検討結果を踏まえ、看護教育の質保証となる実習や能力評価の方略を検討します。方略に対して評価規準・基準・ブループリントを作成し、看護教育・臨床の現場からのフィードバック検証や、指定規則や国家試験出題基準、関係法令との整合などを確認し検証を行う予定です。

3. 本調査研究の目的

本調査では、「2040 年以降の社会を想定した看護職、次世代を担う看護実践能力、そのために必要な教育内容」を明らかとし、次期「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」の改訂案を作成することを目的に実施します。

4. 調査周知方法・調査方法・調査対象者

1) 調査対象者・調査時期

対象者ならびに調査時期は以下の通りです。

【第1回】2023年8月7日(月)～8月25日(金)

対象者：臨床経験のある看護職・看護職経験のある大学院生・看護系大学教員・CNS・NP・CNE

【第2回】2023年9月4日(月)～9月20日(水)

対象者：国内の医療機関等に勤務する副看護師長級以上の看護職・特定行為研修修了者・看護系大学教員・CNS・NP・CNE

【第3回】2023年10月2日(月)～10月20日(金)

対象者：CNS・NP・CNE・多職種連携を専門とする看護師・看護情報学を専門とする教員および看護職

【フィードバック検証】2024年2月頃予定(調査時期が決定次第、改めてお知らせします)

対象者：CNS・NP・CNE・多職種連携を専門とする看護師・看護情報学を専門とする教員および看護職

2) 調査周知方法

貴会の看護職・教員の皆様に向けて、会報への掲載ならびに研修等での周知、メーリングリスト等によるご回覧をお願い申し上げます。

同封の「対象者依頼書」もしくは JANPU の HP (<https://www.janpu.or.jp/commissioned-project2023/>) をご掲示いただき、貴会員の看護職の皆様・看護系大学教員の先生方に、可能な範囲で本調査研究に関するご周知をお願いできれば幸いです。回答数に応じて、追加の周知依頼をする場合がございます。

3) 調査への参加方法・調査方法

本調査では看護職・看護基礎教育の教員の皆様を対象に、Chat 型 AI を用いたインタビュー調査を行います。本調査に、ご理解・ご同意頂いたうえでご回答いただきます。

①右記 QR コードもしくは下記 URL からインターネット上にアクセスしてください。

https://jool.jp/janpu_bot/redirect.html



②表示されたインターネット画面上の Chat 型 AI からの質問に対して、文字入力を行い、回答してください。

③回答時間は 1回あたり 20～30分程度です。途中の中断も可能ですが、その場合、質問や話題が変わる場合があります。

※本調査研究で使用する Chat 型 AI は、看護学教育に関する用語を学習させた調査研究目的のみで使用され、データ収集のための設問搭載を行っております。インタビューで入力された情報は二次利用も生成系 AI の学習にも利用されず、外部に情報漏洩しないよう情報セキュリティ対策を徹底しています。

5. 謝礼

調査回答期間は合計 4 回ございます。調査の対象者によってご回答いただきたい回数や質問内容は異なりますので、それぞれの対象者の属性に沿って該当する調査回と期間にご回答ください。

なお、より専門性の高い内容を漏れ・偏りなく広く社会のニーズを反映させるため、CNS (専門看護師)・NP (NP 教育課程修了者および JANPU-NP 教育課程修了者)・CNE (Clinical Nurse Educator) の方で第 1. 2. 3 回ならびにフィードバック検証まで全て回答して下さる方には ID を付与し、回答を確認した後に些少ですが、薄謝を進呈致します。

6. 本事業の実施体制・問い合わせ先

本事業・研究に関するご質問等がございましたら下記連絡先までご連絡下さい。

【本事業に関する問い合わせ先】一般社団法人 日本看護系大学協議会

代表理事：鎌倉やよい

看護実践能力評価基準検討委員会 委員長：荒木暁子 副委員長：西村礼子

委員：福田友秀、野島敬祐、佐藤聖一

事務局 潮、亀山、久保

電話：03-6206-9451（連絡対応時間：9:30-16:30）

FAX：03-6206-9452 E-mail：office@janpu.or.jp

【本調査研究に関する問い合わせ先】東京医療保健大学 西村礼子

住所：〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-17

電話：03-5421-7656-402(直通) E-mail：a-nishimura@thcu.ac.jp

【Chat 型 AI に関する問い合わせ先】

<https://form.run/@info-oG1zGXvtTRhKXuUHFgh4>



なお、本事業は、JANPU 看護学教育質向上委員会、JANPU 高等教育行政対策委員会等と連携し、実施しています。また、文部科学省高等教育局医学教育課と随時調整し、進めます。

本調査は東京医療保健大学 ヒトに関する研究倫理審査委員会にて、多機関共同研究による一括審査の承認【承認番号：教 023-05B（令和 5 年 7 月 13 日）】を得て実施しております。ご多忙の中、大変恐縮ではございますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<研究協力の任意性、不利益・個人情報保護・情報セキュリティへの配慮>

1) 研究の任意性

対象者の方には、「対象者依頼書」をお読みいただき、ご理解・ご同意頂いたうえでご回答いただきます。研究協力の諾否はご本人の自由意思によるものとさせていただきます。この依頼をお断りされることによって、貴団体ならびに対象者の方に、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。周知した方が調査に協力したかどうかの確認、調査協力への依頼等をされないように、重ねてお願い申し上げます。

2) 個人の不利益に対する配慮

本研究は大きな不利益にはつながらないと考えますが、回答に30分程度時間を要する時間的負担、回答する場合にはインターネット通信費がかかる経済的負担、2040年以降の社会を想定した看護職・看護実践能力・教育内容に関する質問に回答することで精神的負担が生じる可能性があります。

3) 個人情報保護に対する配慮

本研究では、Chat型AIの回答をもって同意とさせていただきます。本研究では全国の看護職・看護教員・看護基礎教育機関に教員として勤務経験がある全員が対象となり、かつ対象者への侵襲や介入はなく、試料は収集しません。本調査ではインタビュー実施により情報収集させていただきますが、インタビュー項目には個人が特定されやすい内容は含まれておりません。

また、本インタビューは無記名であり、インタビュー回答後に個人を特定することが不可能なため、回答後の同意撤回は認められないことをご了承ください。なお、謝礼対象者には、IDを付与しますが、IDの付与ならびに連絡先は研究代表者が対照表を作成管理し、データとは異なる場所に保管させていただきます。謝礼を渡すための、氏名・メールアドレスなどの連絡先は、各電子媒体およびファイルにパスワードをかけることで情報漏洩を予防します。データ収集・データ分析の際にはIDを加工し、復元不可能な状態の仮名加工情報とさせていただきます。調査結果、分析結果は個人が特定されない形で研究責任者ならびに共同研究者が鍵のかかる場所で保管します。

研究成果を論文や報告書等で公表する際は施設や個人が特定されないよう十分配慮致します。

4) 情報セキュリティへの配慮

本調査研究では、看護学教育に関する用語を学習させた調査研究目的のみで使用されるChat型AIにデータ収集のための設問搭載を行っております。今回使用するChat型AIは開発者向けに提供されているAPI版であり、データ収集のために入力された情報は二次利用も生成系AIの学習にも利用されず、外部に情報漏洩しないようガイドライン等^{1) 2) 3)}に則り情報セキュリティ対策を徹底しています。

また、対象者の皆様におかれましても、回答時は所属機関の情報セキュリティガイドラインや、ご自身の端末・ネットワーク環境などの情報セキュリティや対策をご確認の上、個々人の責任の基で実施してください。情報セキュリティ対策の脆弱性は皆様自身が入力した回答の情報漏洩の危険性につながることもあります。

1)総務省自治行政局デジタル基盤推進室. ChatGPT等の生成AIの業務利用について(令和5年5月8日)

https://www.soumu.go.jp/main_content/000879561.pdf(検索日:2023年6月21日)

2)個人情報委員会:生成AIサービスの利用に関する注意喚起等について(令和5年6月2日)

https://www.ppc.go.jp/files/pdf/230602_kouhou_houdou.pdf(検索日:2023年6月21日)

3)文部科学省 初等中等教育局.初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン(令和5年7月4日)

https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyuo02-000030823_003.pdf(検索日:2023年7月11日)